

令和6年度 施策評価シート

基本目標	I	「すみだ」らしさの息づくまちをつくる
政策	120	すみだの多彩な魅力を内外に発信し、成熟した国際観光都市をつくる
施策	122	区内の観光資源を連携させ、楽しめるまちをつくる
施策の目標	区内に点在する観光拠点・資源や地域の様々な活動を連携させることにより、まちとしての魅力が向上するとともに、新たな「コト」に取り組む多くの人が集まり、まちが賑わっています。	

1 基本計画における成果指標の状況

指 標 名	観光資源データベース登録数									
	基準年 (H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	-				-					1,900
実績	-				-	1,752	1,752	1,819		
指 標 名	区が後援・共催した民間主体の観光関連事業件数									
	基準年 (H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	-				40					45
実績	38				-	15	34	34		

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移（千円）	
墨田区観光協会をはじめ、地域の人や事業者が実施するイベント等に、今後も支援を行い、地域の活動を連携させることで、更なる地域の賑わいを創出・継続していく必要がある。	R3	179,600
	R4	55,109
	R5	77,213

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
C	観光需要の回復にあわせ、観光協会が地域の人や事業者と連携して実施しているイベント等を、引き続き支援していく必要がある。

4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
	(1) 優先的に資源投入を図る。
	(2) 現状維持とする。
○	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
地域主体のイベントを継続して支援する必要があるが、より効果的な方法についてもあわせて検討していく。	
【今後の具体的な方針】	
墨田区観光協会や関係者との連携を図り、地域主体のイベントを継続して支援していく。	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳 出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳 出 総 額 (千円)	目的に対する指標	直近の評価内容
					年度目標値	評価結果
					年度実績値	評価対象年度
1	観光地域づくり法人(地域DMO)への支援	76,123	11,917	88,040	9,900,000	改善・見直し
					7,199,223	令和5年度
2	水辺空間を活用した賑わい創出事業	1,090	5,107	6,197	4,800	改善・見直し
					2,349	令和5年度
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

施 策	策	122	区内の観光資源や様々な活動を連携させ、楽しめるまちをつくる				部内優先順位	
事 業 名	観光地域づくり法人(地域DMO)への支援						1	
目 的	地域活性化をけん引するコーディネーターであり、日本版DMO法人として観光庁に登録されている墨田区観光協会を支援することで、民間の活動促進、交流による関係人口の増大、シビックプライドの醸成等を通じ、持続可能な観光振興を図る。						主管課・係(担当)	
							観光課観光担当	
							03-5608-6931	
対 象 者	観光客、観光事業者							
根 拠 法 令	産業と観光の将来構想							
関 連 計 画								
実 施 基 準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	常勤1人・一般社団法人墨田区観光協会			
事 業 内 容	(1)観光地域づくり法人を中心として観光地域づくりを行うことについての多様な関係者との合意形成 (2)データに基づく戦略の策定・実施 (3)観光資源の磨き上げや受入環境の整備等の着地整備に関する地域の取組の推進 (4)関係者が実施する観光関連事業との調整・仕組みづくり、プロモーション							
経 過	開始年度	平成29年度			終了予定			
	平成30年3月30日 都内の区市町村で初めて地域DMO法人として観光庁に登録。 令和元年度より、DMO補助金を開始。							
議 会 質 問 の 状 況	平成30年 第1回定例会 日本版DMOの観光庁への登録の進捗状況について 平成30年 第2回定例会 地域DMOの推進事業の進捗状況について 平成30年 決算特別委員会 地域DMOの推進事業費について 平成31年 予算特別委員会 地域DMOの推進事業費について 令和元年 9月定例会 地域DMOの推進事業の進捗状況について 令和2年 3月産業都市委員会 地域DMOの推進事業の進捗状況について 令和3年 3月予算特別委員会 観光地域づくり法人(DMO)への支援経費について 令和4年 3月予算特別委員会 観光地域づくり法人(DMO)への支援経費について 令和4年 11月決算特別委員会 観光地域づくり法人DMOへの支援経費について							
そ の 他 特 記 事 項								

予算・決算額推移(単位:千円)		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算現額(事業費)		14,000	16,000	42,750	54,000	76,123	74,000
A.決算額(令和6年度は見込み)		12,694	14,760	42,750	54,000	76,123	74,000
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		12,694	14,760	42,750	54,000	76,123	74,000
執行率(%)		90.7%	92.3%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
B.人コスト		4,369	7,058	8,796	8,179	11,917	
総事業決算額(A+B)		17,063	21,818	51,546	62,179	88,040	
予算書P(令和6年度)		P207・208、3(1)(2)(3)		執行実績報告書P(令和5年度)		P150 3(1)(2)(3)	

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和4年度（決算）			令和5年度（決算）			令和6年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
負担金補助及び交付金	補助金	54,000	負担金補助及び交付金	DMO補助金	54,000	負担金補助及び交付金	補助金	69,000
			負担金補助及び交付金	東武スカイツリーライン高層下施設の利活用	22,123	負担金補助及び交付金	小規模観光客利用促進事業等に關する補助金	5,000

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	DMO法人(観光協会)の主催・共催等イベント件数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		55	R7	目標		50	55	60
				実績		47	48	53
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	30	30	40	45	50	55
		実績	15	27	46	56		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	墨田区観光協会のイベント等を支援し、民間活動の促進、交流を促す。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	区内を訪れる観光客数 (観光関連施設及びイベント入込客数)				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		10,000,000	R7	目標	9,100,000	9,300,000	9,500,000	9,650,000
				実績	9,175,663	8,142,160	8,211,870	7,468,410
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	9,800,000	9,800,000	9,900,000	9,900,000	9,900,000	10,000,000
		実績	2,458,695	2,023,411	4,029,851	7,199,223		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	墨田区観光協会(地域DMO)への支援を通じて観光振興を図り、観光客の増加など地域の活性化を促進する。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	墨田区観光協会(地域DMO)が主体となり、事業者、地域、墨田区と連携・協力しながら観光振興を図る。

課題・問題点
墨田区観光協会(地域DMO)が、地域や民間事業者と連携しながら、地域が主体となる取組を継続できるように支援していく。また、DMOとして求められている観光消費額や延べ宿泊者数などのデータ分析について、具体的な手法を検討していく必要がある。

施 策	策 122	区内の観光資源や様々な活動を連携させ、楽しめるまちをつくる				部内優先順位
事 業 名	水辺空間を活用した賑わい創出事業					2
目 的	継続的な賑わいの創出、地域の活性化に資することを目的に、地域や民間の発意による主体的な取組や、水辺の公共空間等の利活用を促進していく。					主管課・係（担当）
						観光課観光担当
						03-5608-6500
対 象 者	観光客、区民					
根 拠 法 令	産業と観光の将来構想					
関 連 計 画						
実 施 基 準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤1人	
事 業 内 容	●水辺空間を活用したイベント等の実施 ●東武鉄道株式会社との協定に基づく協議 東武鉄道株式会社と連携し、本船着場を含めた北十間川周辺エリア全体の一体的な賑わい創出と、効率的かつ効果的な運営手法の検討を進める。					
経 過	開始年度	令和2年度			終了予定	
	令和2年度	東武鉄道株式会社との協議（計5回） （第1期）小梅橋船着場社会実験開始（令和3年3月1日から令和4年3月31日まで）				
	令和3年度	東武鉄道株式会社との協定に基づく協議（定例会開催） （第2期）社会実験延長（令和5年3月31日まで）				
	令和4年度	東武鉄道株式会社との協定に基づく協議（定例会開催） （第3期）社会実験延長（令和6年3月31日まで）				
	令和5年度	東武鉄道株式会社との協定に基づく協議（定例会開催） （第4期）社会実験延長（令和7年3月31日まで）				
議 会 質 問 の 状 況	令和5年9月 地域産業都市委員会 小梅橋船着場の観光客の利用状況について					
そ の 他 特 記 事 項						

予算・決算額推移(単位:千円)		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算現額(事業費)			900	1,343	1,329	1,479	1,000
A.決算額(令和6年度は見込み)			0	1,079	1,109	1,090	1,000
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		0	0	1,079	1,109	1,090	1,000
執行率(%)		#DIV/0!	0.0%	80.3%	83.4%	73.7%	100.0%
B.人コスト			3,529	4,398	4,089	5,107	
総事業決算額(A+B)		0	3,529	5,477	5,198	6,197	
予算書P(令和6年度)		P207 2(3)		執行実績報告書P(令和5年度)		P150 2(3)	

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和4年度（決算）			令和5年度（決算）			令和6年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	消耗品費	4	需用費	消耗品費	5	負担金補助及び交付金	タブロイド紙発行	1,000
役務費	清掃費	0	役務費	清掃費	0			
委託料	社会実験企画	280	委託料	社会実験企画	260			
負担金補助及び交付金	タブロイド紙発行	825	負担金補助及び交付金	タブロイド紙発行	825			

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	運行便数				単 位	本
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		240	R7	目標				
				実績				
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	20	240	240	240	240	240
		実績	8	189	176	160		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	本船着場を利用する船の運航便数とし、240本(月間20本×12月)を目標値とする。 ※令和2年度3月1日から社会実験を開始したため、基準年を令和2年度とする。また、令和2年度の目標値は3月分(20本)のみとする。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指 標	乗下船人数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		4,800	R7	目標				
				実績				
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	400	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800
		実績	53	1,459	1,984	2,349		
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	本船着場を利用する船の乗下船人数とし、4,800人(月400人×12月)を目標値とする。 ※令和2年度3月1日から社会実験を開始したため、基準年を令和2年度とする。 また、令和2年度目標値は3月分(400人)のみとする。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	舟運事業者及び墨田区観光協会と連携し、本船着場を含めた北十間川周辺エリア全体の一体的な賑わい創出と、効率的かつ効果的な運営方法の検討を進める。

課題・問題点
本船着場の認知度が低いことが、利用する舟運事業者や事業参加者からのアンケート調査から判明している。認知度向上のための事業を引き続き行っていくほか、本船着場の民間による管理方法について、墨田区観光協会と協力し、検証を行う。